

第6回 在宅医療・介護講演会

- 1 開催日時：令和元年11月29日（金）午後2時～午後4時
- 2 開催場所：淀川区役所 5階 会議室
- 3 講師：淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長兼副医務部長 池永 昌之先生
- 4 演題：最期まで安心して自分らしく過ごすために～人生会議ってなに？～
- 5 参加者数：約170名

6 内容：

(1) 人生会議をぜひ、始めてみてはいかがでしょうか。

大切にしていることは、みなさん、それぞれ違います。大切にしていることは、頭の中にあつたとしても、伝えないと誰にもわからない、自分で決めることが難しくなった時のために、前もって家族や周りに伝えておくということが、家族や周りにとって、とても大事です。

そのためには、まずは、自分の考えや気持ちを書いてみて、それを見せながら家族やまわりの人、主治医や訪問看護師さん、ケアマネジャーさんなどに話して、伝える必要があります。また、もしもの時に、自分の代わりに、自分のことを決めてもらう人を決めて、その人にきちんとそのことを伝えておくことも必要です。

できれば、病気になる前に、介護保険を利用するときや、ケアマネジャーさんが決まったときに、ケアマネジャーさんと話をしたり、訪問看護師さんが来られるときに人生会議をしていってはどうでしょうか。

また、自分の気持ちも日々、変化するので、その時々、例えば誕生日の時に子供さんに伝えたり、結婚記念日に配偶者に伝えると良いのではないのでしょうか。

人生会議は、単に最期にこうしたい、ここで死にたいといった死に方を決めるものではなく、最期まで生きる、生き方を決めるものです。その人が大切にしている人生観を、家族、施設、地域を超えて大事にするために、医療・介護・福祉関係者が、その人の人生観、価値観を尊重した医療や介護を提供できるように、人生会議をぜひ、始めてみてください。

(2) 「淀川区夢ちゃんマイノート（私の思い）」について、説明しました。

一般社団法人大阪市淀川区医師会在宅医療・介護連携相談支援室の久保田コーディネーターより、説明していただきました。

- ・遺言状とは異なり、法的拘束力はありません。
- ・自分の気持ち、大事にしたいことなど、自由に記入してください。

・書けるところから、書ける範囲でご記入ください。全て記入する必要はありません。

※夢ちゃんマイノート（私の思い）は、区役所 2 階 22 番窓口、1 階配架コーナーで配付していますので、ぜひご活用ください。

7 主な質疑応答

1. Q. 自宅で亡くなっても、最後は医師に診てもらう必要があるのですか？
 - A. 法的には 24 時間以内にその人を診察していれば、死亡診断書を書くことができますが、やはり、最後は診察してから、死亡診断書を書いている場合が多いと思います。
2. Q. 日曜日に亡くなった場合はどうなるのですか？
 - A. 事件性がないかどうか、問題になることがありますが、終末期になると、多くの支援者（訪問看護師等）が毎日でも診に行っていることが多いので、普段から、診察されてどういう状況かわかっており、カルテで確認できておれば、警察も事件性がないと判断されることが多いです。
3. Q. 病院では、がんの方などにどういうタイミングで ACP(Advance Care Planning、アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議)を提案されているのですか？
 - A. 病院としてはできるだけ最期を迎えるときにどうしたいかは聞くようにしていますが、治療の初期から聞くのは、無理がある場合もありますので、それぞれの人の立場によってかなり異なってきます。万が一の時を考えて、前もって考えたい人もいれば、考えたくなくて、最期まで治療を頑張っていきたい方もいます。いいタイミングかどうかは、かなり人によって異なると思います。病院では、いつでも相談したいときは話ができるということを広報していますが、もし、人生会議について話をしたいことがあれば、病院の看護師やケアの担当者に聞いてみる、または自分の希望を入院時に話をさせていただくのがいいタイミングだと思います。治療が難しい病気で入院された時には、お声をかけるようにしています。
4. Q. 救命士は命を助けるために、日々、活動していますが、在宅で見守り中に救急搬送を頼まれて、現場にかけつけても、家族が延命を断るというケースがあり、困ることがあると聞いています。
 - A. 大変難しい問題です。救急車を呼ぶということは命を助けて欲しいという依頼です。救急車を呼ばれた以上は、命を助けるための心肺蘇生など、すべてできる限りのことをして病院に搬送します。時に、家族の方が病院に搬送して欲しいが、心肺蘇生をして欲しくないという場合もあります。そのため、在宅医療をされている場合は、いざという時にどうするか、繰り返し、ご家族と相談しています。そして在宅医療をされてる方が急変した時は、救急車ではなく、かかりつけ医、訪問看護師に連絡してくださいと伝えていきます。しかし、ご家族が急変に驚き、どうしても呼んでしまうことがあり、その場合は、とりあえずの対応をしていただきながら、病院に搬送していただき、病院は治療内容を家族と相談していくことになります。

8 参加者の感想

- ・大変良かったです。色々と納得できました。ありがとうございました。
- ・家族としっかりと話し合っていきたいと思いました。
- ・講師の先生のお話が丁寧でわかりやすく、心に残りました。
- ・講演内容は素晴らしいお話でした。それをすぐ実行できるかどうかはわかりませんが、頑張りたいと思います。
- ・元気な時に家族で話し合っ、お互いに意志を確認し合うことが大切だと感じました。
- ・息子たちに書いたものをもとに話します。
- ・早速、主人と話をしたいと思います。・改めて人生会議の重要性を感じました。実施したいと思いますが。。
- ・マイノートをしっかり活用して、自分の意志がしっかり皆に伝わるようそのすべをきちんと考えていきたい
- ・その人の価値観や人生観を話し合う事の必要性を感じた。とてもためになった。ありがとうございました。
- ・講師の先生のお話がていねいでわかりやすく、心に残りました。
- ・池永先生の話し方がとてもわかりやすくていねいに説明されている所が将来、自分らしく過ごすために参考になりました。

